二十三日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵 稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□特輯欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平） 七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

菊を植ゑ朝顔をつくり日を送る世の
許すわれ牢に繋がる

（齊藤劉）

閑伽井嵐

新時代の市長

木下雁次

平市長の後任問題は十九日夜の第二回市議協議會に於て詮衡の範圍を市及郡出身者に廣めその結果、猪瀬乙彦、金子久次、藤井利譽の三氏を指名、正副議長その他の交渉委員をあげて愈々三氏に交渉する事に落ち着いたといふ事である三氏とも平市在住でこそなけれ「何れも生つ粋の磐城つ子であり、その人格識見閲歷はわが平市の市長として過ぎる所はあつても不足の點はないと思はれる、なほ聞くが如くんば十九日夜の後任市長詮衡氏名發表後市議諸公の間の空氣は極めてなごやかであつたといふ事である。從來代議士縣議市議市長候補者等の詮衡會後などはともすれば面白からぬ空氣も見えたやうに聞いてゐる。自治体の本領上自巳の所信を開陳したる後はそれがどう決定しようといざこざをいはずに一切に釋然たるべきである。然るに從來はその當然「……たるべき」とが實際に行はれ難たかつたのである。從つてそこに非難攻撃さるべきものが存在したのである今回の詮衡後はなごやかな空氣であつたといふ事はそれをきく全市民にも明るい氣持を與へてゐる。時代は既に移りつゝある。舊体制的なものはいかにあせつてももがいても時代からとり殘される。新時代の黎明の光は事變下の暗澹たる空の彼方からほのかに輝きそめてゐる。新時代を擔當すべき平新市長は全市民の特望するが如くあく迄公平明朗なる新しい手段方法にて選び出すべきである、全市議協力一致の步調をとるに於ては三氏の中一人は必ずや快諾して渾力の勇を振つて郷土の爲盡すべく出馬するに違ひない

我が國「武」の變遷

（十二）

山名隆之

これより先、家康は關ヶ原役後慶長八年、征夷大將軍に任ぜられ幕府を江戸に開いた。江戸幕府はこゝに始まる。實に永き太平の、而して實に永き獨裁の德川時代、江戸時代は始まるのである。彼は信長の如く急ならず、秀吉の如く疎ならず、極めて用意周到に且つ大膽に且つ破廉恥に之を行ひ且つ行ひ果したのである、それは牛の步みの如く決して速くはなかつたけれ共一旦踏みつけた一步一步は既に確實であつた彼は心中、信長をも秀吉をも輕蔑し嘲笑したであらう。かくて彼も亦私武覇道の夢に憑かれたと見え、幕府を創始したのである。地味で丹念な彼は徒らに大向ふを唸らせることを好ます、又自己の功績を鼻にかけて何時までも生恥を暴する事はなくやがてサッサと駿河に引揚げ、將軍職を秀忠に讓つてしまふ。退いて「大御所」。然り、天下を私する大御所となり了らせたのである、かくして元和二年七十五歲の天壽を完うして死ぬ。誠に彼は心中大安堵を以て大往生を遂げたであらう。顧るに淸盛、賴朝、高時、尊氏義滿、義政、信長、秀吉らはその各々の立場に於て決して安心立命大安堵の下に大往生は遂げなかつたであらうひとり家康のみはあらゆる幸福を滿喫しつゝ死んだといへよう。彼の枕頭には謹直篤實なる秀忠が居てとつくりと死に水をとつてくれたのである。

茲に江戸幕府の政治の形態は封建政治を以てその根本とした。家康はかやうにしてこの形態を完全成立せしめ周到なる用意を以て諸候を配置し、巧みなる均衡を以て之を吊合はさしめ嚴に之らを支配監督し、苟くも一揃の淚など敢てせぬところであつた。これによつて江戸二百五十年、凡そ世界史上にも稀なる長き泰平の世を得さしめたのである。

吾人は既に、家康を以て私武の大御所と斷じたが、彼としても一も二もなく國體に反し皇に背き奉る者ではなかつたのである。信長秀吉並みにたとへ義務的にもすることをはじめたのである。

文協の仕事

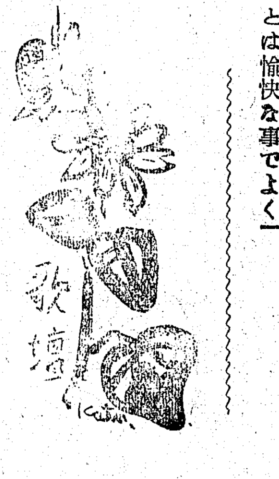
五 健康相談

高木稻水

5、映畫會

あたりが暗くなつて來た。再び學校に出掛けてゆく。會場にはまだ子供が三四十人集まつてゐるだけだつた。平窪では映畫の前に講演をやつたので宴會に御馳走を並べて長々と開會の辭を述べると同じで心は映畫に走つてゐて落着いて聽いてゐてくれなかつた憾があつたので今夜は映畫班の星岡さんの言に從つて先づ映畫をやつてからその幕合に講演をする事にして七時四十分映畫を始めた。「隣組」「ニュース」「靖國の英靈」をやつた。講演をしようと思つて電燈をつけて會場を見るといつの間にかぎつしりと觀衆が入つてゐて廊下にも溢れてゐるの盛況であつた。駒木根助役さんが司會する。自分の文協の說明はどうもやりにくゝて閉口した相手が子供や女の人が多いのだからむづかしい事をいつてもわからないだらうと思ふとどう說明したら好いやらまご〳〵してしまつた渡邊さんの子供の病氣のお話しは落着いてゆつくりとやられたのでよく徹底したやうである。會衆も予想の如くがさつかずに好く靜かに聽いてゐた。「暢氣眼鏡」「報導戰士」の二卷をやつて萬歲を三唱して閉會したのが十時半だつた。

健康相談は相當に成功だつたやうで、文協の本質がわかればもつと相談に來るものが多くなるだらうと思ふ。かうしてお醫者さんにめぐまれぬ土地で豫防醫學の職域奉公をすることは愉快な事でよく〳〵でなければお醫者さんにかゝらうとしない村民に相當の蒙を啓いてやつたやうに思はれる。映畫は十六ミリトーキーが割合に鮮明であり發聲も悪くなかつた。ただ「暢氣眼鏡」のやうなものは全く田舍向ではない。しかもこのフィルムは二ケ所も切れてをり發聲も一番不明瞭だつた。「靖國の英靈」は好かつた。校長先生が注意したにも拘はらず會が終つてから會場を見ると紙屑等がちらかつてゐた。映畫を見ながら物を食ふといふ習慣は田舍ではぬけ切れぬのである眼で映畫を見、耳でトーキーを聽き口で物を食ふ三つの慾望を一時に滿足させようといふのであらうが訓練を要すると思ふ。



益良夫の歌

（上）

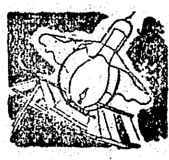
渡邊松久

大東のすめらいくさに益良夫の手力振ふ
ときは來たれり

すめろぎに此の身ゆ棒げ萬斛の悲淚に堪
えて我は征くなり

はしけやし吾妹を置きて聖戰に出で立つ
我の心いたしも

雄々しくも明日はたつかと雨けぶる桑梓
の山をあかず眺めり



異人劍法

（禁無斷轉載上演上映）【36】

車谷弘

下山望東書

小梅浴衣（三）

小梅はとろんとした眼をすゑて、

『どれだい、いゝ男つては……』

『それ〳〵そこにゐるぢやアありませんか。巳之さんはまつたく水晶屋にやア惜い位の男ですよ』

『暗くつて見えやアしない』

と小梅はまたあくびをして、

『水晶屋さん……』

『へい』

『今階下へ降りてゆくから見せておくれ』

『へい毎度有難う存じます』

『水晶ぢやアないよ、お前さんの顔を見せて貰ふんだ』

『こりやア大きに恐れ入ります』

小梅は手すりにつかまつて、よろ〳〵と步き出した。

『姐さん危い……』

と淸香はあわてゝ小梅の體を支へ乍ら、二人は階段を降りて來た

二階座敷のどんちやん騷ぎは、ます〳〵激しくなつてゐた。

濱田屋の上り口に、腰をかけ荷物をおろして、膝の上に兩手を組み合せ乍ら、階段を見上げて待つてゐるのは水晶商人の巳之助だつた。

上り口に崩れるやうに小梅が坐ると、巳之助は小腰をかゞめて、御愛想笑ひを泛べ乍ら

『こりやア姐さん大層いゝ御景氣で……いつも御盛んで結講でございますなア』

『よしておくれよ』

小梅はせゝら笑ふやうに、

『妾アお世辞は大嫌ひさ、それよりもさア見せて貰ひませう』

『へい、どうも相すみません』

と水晶をとり出して疊の上へならべようとすると、

『水晶ぢやアないといふのに……』

『御冗談で……』

『いゝえさ、妾が見せておくれといふのは、お前さんの男ぶりだよここにゐる淸香さんがあんまりうるさくほめるから、女冥利に一度拜んでみたくてねえ』

『まア姐さん厭ですよ』

と眞赤になつて、袂で顔をかくす淸香を、小梅は悪戯つ兒のやうに面白がつて、

『だつて今もそう云つて、妾をひつぱつて來たのはお前さんぢやアないか』

『もし姐さん』

巳之助がひきとめて

『れつきとした姐さんが、しがねえ水晶屋風情を、おからかひなすつちやア罪でございますよ、まアそんな御冗談をおつしやらずに水晶だけでも見てやつておくんなさい』

『珍しくもない水晶なんか、どうせ見たつて始まりやアしない。水晶本場の甲府から、妾アはる〳〵この下田へ流れついたばかりだからねえ』

『えつ』

甲府と聞くと、巳之助は、思はずパッと眼を見張つた。改めてソッと小梅の顔を見直した巳之助の表情にたちまちかすかな狼狽が泛んだのである。急にそは〳〵落着きを失つた巳之助に、淸香は少しも氣がつかないで、

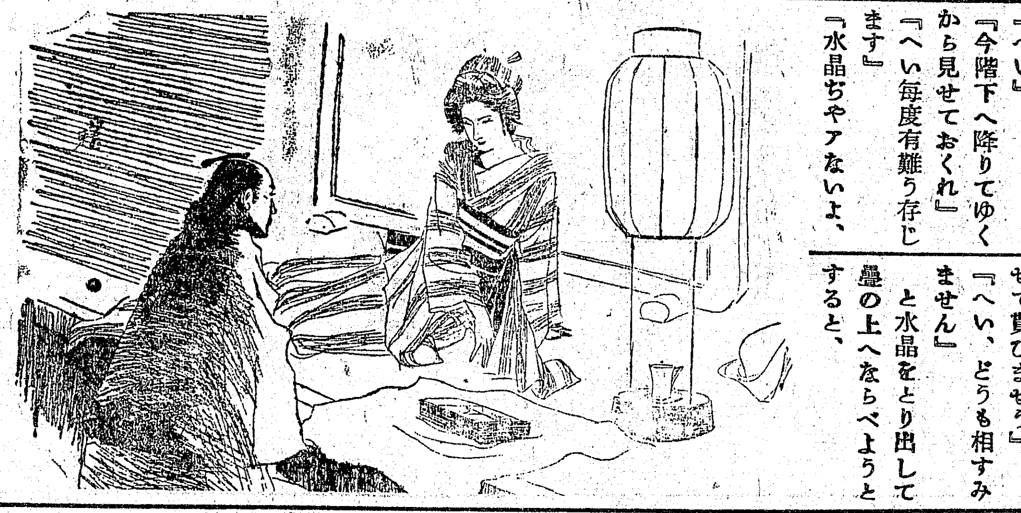
『そう〳〵確、巳之さんも、甲府から來たんでしたねえ』

『おや、そうかい』

小梅は、とろんとした醉眼を手の甲でこすりながら、巳之助にずり寄つて來た。

巳之助は氣どられまいとする樣に、横顏を見せてうつむいてゐたその横顏をぢつと見つめて、

『成程ねえ、そう云へば、確にどこかで見た事のある顏だが……』



小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
御會食御商談に
御利用を……
味の店 寶來

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大田町電323番

三笠燒
色羊羹
味自慢
風味萬點
平驛前
中央通
米屋最中店
モナカ屋がお茶受御土産として始めました、どうぞ最中と同樣御贔負を願ひます

耳鼻、咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

◇和文、歐文、タイプライター◇最新事務用品類◇文房具一式◇製圖並に測量用品◇謄寫板並に附屬品
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森事務用器商會
平市田町銀座街 電二九六番
仙臺振替五一〇番

平市紺屋町
耳鼻科
咽喉科
▽入院應需△
增田醫院
醫學博士 增田[illegible]之
電六五一

トンカツ
とんかつ專門の店
かの家
營業時間 午前十一時 午後十時半
一日、十七日ハ肉ナシ日ニ付キ休マセテ頂キマス
平市仲田町 電話四六五番

內科
外科
小兒科
花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

磐城セメント
小賣 指定
大谷石を賣始めました
野內商會
平市南町
電話一二番

外科（內臟、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長 上田耕作
平市南町 電一二九

日本油脂株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黑板塗料、
一手販賣
㋑磐城水產工業株式會社
小名濱町築港內 電一四四

砂利小賣 販賣
◎長橋町三十番地へ貯藏所を設けました。容れ物御持參下されば小量でも小賣り致します、
◎五合以上の御注文は特に運搬も致します
神谷砂利店
平市白銀町 電話六六五番

鳩尾加壓器（みつおちかあつき）
鳩尾を落すこと
一、胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
一、鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
一、使つて其日からこれは効くぞと判るのが特徵です
製造頒布元…東京林健體本部
頒布所 平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番

磐城のおみやげ品
みやま羊羹
梨羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

外科專門
野村外科
手術室完備
小名濱町古港 元津村屋跡

御料理
一の井
平三田小路
電一六七

高級林檎酒
ミユキ
釀造元 青森縣弘前市 株式會社 御幸商會
福島茨城販賣元 石井德重商店
久ノ濱町 電話三二番

フタバ磁氣療院
平市中町（公會堂通り）
フタバ印刷所內
電話一九三番

自動車助手男車掌女急募
求人者 野崎交通自動車株式會社
人員 助手五名 車掌十名
年令 十六才以上二十才未滿
希望者 履歷書持參左記ニ申込ノこと
平國民職業指導所
電五六二番

巴式・長洲風呂
風呂釜
平市紺屋町
電三六六番
大谷建材店

祖先崇拜は
家庭繁榮の礎
佛壇、塗位牌、佛金物
是非當店へ……
豐富に取揃へてあります
佛具造花 山光堂店
平市局通り【電話五五〇番】

醫院開業（入院室完備）
內科小兒科 專門
醫學士 石坂銈
平市六丁目交番脇
石坂醫院
午前宅診 午後往診

女車掌募集
未經驗者を求む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目 電話685番

暴威にまかす

全郡泥海と化し・被害甚大

通信連絡、交通も杜絶

一晩中暴れ廻つた颱風も今朝辛ふじて通過したが河川の氾濫に依つて郡下殆んど泥海と化し減水せず、通信の連絡も杜絶してゐるため調査困難であるが堤防決潰、橋梁流失、家屋の流失、人畜の死傷も相當あり浸水家屋等無數に上る見込みで平、四倉、植田の三警察署及各市町村の警防團員等總出動して救助作業に努めてゐる

市内大半水浸し

周圍の交通全く杜絶

平市の南方を貫流する新川は廿三日午前二時頃堤防を超へ、同時刻から滿潮となつた爲夏井川は急激に増水、從つて新川も逆流する形となつて氾濫、同五時頃からグン／＼増水して市内は隨所に大洪水に見舞はれ、午前六時頃警察署前通りを僅かに浸してゐた水が七時頃には南町一帶の線まで進み、仲間町、長橋町、六、七丁目、鎌田町方面が最も甚しく、八時頃には一、二丁目から田町方面と次第に範圍を廣め、中方部と高台を殘して周圍は全く水に圍れ新川附近は道路上四尺、南町を東西に引く線も二尺余、六七丁目仲間町方面も同樣交通困難となつた

平警察署は全員非常召集し、警防團員も同樣徹宵警戒に努めたが増水が急激だつた爲手の下しやうなく、警防團は非常舟を出し連絡に當つてゐる

浸水町名

（午前八時現在）

長橋、研町、新町、材木町、堂の前、仲町、鍛冶町、紺屋町一部、南町、十五丁目、大町、月見町、新川町、堤の內、六七丁目、鎌田町、五丁目、大工町、一、二丁目、仲間町、番匠町、鷹匠町、柳町白銀町、北目、平窪方面

工業學校 材料流失

堀江損害三萬圓

縣立工業學校は起工して間も無く、堀江工業の建築材料を山の如く積まれてゐるが、土盛りの數地は濁流に洗はれ材料、製品など殆んど流失に任せ、損害は三萬圓を超へるものと憂慮されてゐる

警防團員 殉職二名

平市大字中平窪警防班長吉田秀一(四〇)は廿二日午後四時頃夏井川の假橋(久太夫橋)が危險に瀕した爲警戒中足を辷らして河中に轉落濁流に呑まれて行方不明となつた

◇

箕輪村大字大利警防第六分團員片寄勝(三〇)は廿三日午前六時頃全村大利國民學校裏の川を警戒中行方不明となつた

發見死体三名

行方不明十八名

慘憺たる植田方部の被害

植田方部は隨所で鮫川氾らんした爲被害最も甚大の模樣で植田町から錦町へ通ずる舊國道番所町附近は一時水嵩三十尺に達し舊鮫川橋は流失これが爲附近の家屋六軒流失

植田町番所下料理店水月長澤伊勢松妻ハル(四三)長男長次郎(九)酌婦安積郡永盛村生れ富澤ツタ(三五)の三名死体發見され尚同家の信夫郡生れ富塚ヨミ子(三八)は死体擧らず、目下行方不明で絕望視されてゐる者は同町の古物商半島人金八鳴一家七名、同木賃宿小野三郎一家七名で何れも家屋と一處に押流されたものであること の外、田人村二名、山田村で一名の行方不明者があり搜査中の者合計十八名に上つてゐる

全町も殆んど水浸しとなつて植田署前通りでさへ道路上三尺を超へ町內の交通も杜絕する慘憺たる狀況であつたが正午頃までに舊國道方面を殘し減水した

流失家屋

植田町番所町

植松彌兵衛、櫛田市松、武内今朝吉、門馬末藏、小野三郎、長澤伊勢松

山間部方面にも流失家屋、山崩れなど相當數に上る見込みで植田署では調査を進めてゐるが錦町流失家屋二戸、全潰二戸を出した

植田方部の水害が豫想外に多かつたのは山田村地內で鮫川堤防數ヶ所決潰し濁流がどつと押し寄せた爲らしい

濁流に呑まる

流木拾ひの兩名溺死か

久の濱町東町本籍大津町中村龜治(三八)同町鈴木忠光(一八)の兩名は豪雨の去つた今朝六時半頃、大久川で流木拾つてゐた處誤つて濁流に轉落、押流される龜治さんを救助すべく忠光君も濁流に飛び込んだまゝ行方不明となつた爲警防團員等搜査したが激流物凄く手の下しやうなく兩名共溺死したものと見られてゐる

鎌田橋流失

濁流堤防超える危機

夏井川の增水は遂に十二尺を超え、午前四時に至り渦卷く濁流のため舊鎌田橋は眞二ツとなり中央部四間余決潰流失した

同鎌田橋際は道路との關係で堤防より低くなつてゐた爲濁流が一時流出する危險に瀕したが土俵を積んで辛くも防水した

焚出し開始

市當局の應急處置

平市では吏員雇傭員總動員し警防團員と協力して罹災者救助に努め、鎌田町、堤內、長橋町、月見町、鷹匠町、仲間町、北白銀町、大工町等の床上浸水家屋に對し應急對策として炊出しを開始、水害に見舞はれなかつた區內會に對し罹災家屋救援の炊出し奉仕するやう命じた

磐城高女

焚出し開始

平市內の中小學校は全部休校したが磐城高女では寄宿生を動員午前十時頃から焚出しを始め、敎職員が裸体となつて十一時頃から最も水害の甚しかつた南町及東部地方へ分配した

鐵道不通個所續出し

兩線ダイヤ混亂

全通の見込當分無し

夏井川は昨夜から刻々增水しこのため各鐵橋は危險に瀕し遂に昨夜十二時ごろに至つて磐越線平—赤井、赤井—小川鄉、夏井—川前間が不通となりまた內鄕村小島地內の路線が冠水これも同樣十二時ごろ杜絕、今朝二時頃に至つて平、草野間夏井川鐵橋が危ぶまれ不通となつたので平保線區では昨夜から必死の防水作業に努めてゐるが

目下の處開通見込みが樹たず鐵道側でも狼狽してゐる十時現在の不通個所次の通りである

【常磐線】平—綴、平—草野、南中鄉—磯原、綠岡信號所—水戶

【磐越線】平—赤井、赤井—小川鄉、夏井—川前

旅客も足止め

二百余名驛前に待機

常磐線、磐越線のダイヤが混亂したため平驛に足止めされた乘客は約二百名に達し內には徹夜部隊もあつて平驛は思はぬ混雜を極めてゐる

『今日の處復舊見込みありません』の驛員のはなしにダイヤ復舊を待つ人々は驛前の食堂を占領して回復を待ちあぐんでゐる

開通

平…綴間

關本間運轉開始

綴—平間は午前十時頃漸く開通し關本驛まで折返し運轉してゐるしてゐるが茨城縣內の被害が大きい模樣で上野—平間全通は相當遲れるらしい

電話不通

市內外被害甚大

平局を中心とする市外電話不通個所は相當數に上つてゐるが、重なるものを擧げると

東京、水戶、大津、高萩、勿來、福島、郡山、山形方面、富岡、川前

等で仙台線は辛ふじて二回線だけ使用してゐる、市內は

故障六十四個、鐵北方面は殆んど不通、長橋、田町、仲町、南町、大町

方面も概して不通となつてゐる、福島、郡山線は當分開通見込み無く、東京線は五回線の內間も無く一、二回線開通の豫定

猛威ふるつた

颱風經路

雨量半日で二石四斗

颱風接近……に備へ小名濱測候所では廿一日夜八時頃管內全体に暴風警報を發してゐたが小笠原島南東から內地へ向つて突進しつゝある颱風の接近に廿一日夜再び颱風警報を發した、この颱風接近で平地方一帶は昨夜六時頃から豪雨に見舞はれ九時、十時と次第に猛威をふるへ十二時頃から今廿三日未明へかけて捷慘な嵐と化した、小名濱測候所の觀側に依ると

最大風速南西廿五米の烈風となり、昨夜六時から今朝六時まで十二時間の降雨量は百卅ミリ(坪當り二石四斗)

前日來滿水してゐた郡內一帶の大小河川はこの猛烈な豪雨に遭つて夏井川を除き殆んど氾濫し、全郡下を通じ未曾有の大洪水と成つた

內地上陸以來通過圈內を荒し廻つたさしもの颱風も未明頃から次第に遠ざかり今朝六時頃風雨共におさまつた

颱風方向

【廿三日午前八時】

內地へ上陸して猛威をふるつた颱風も午前八時頃二つに分列し、一つは七百四十二ミリで新潟北東九十キロ附近にあり每時四十キロの速さで進行し、また分列した一つは大部弱つて七百五十四ミリ程度を示し石の卷と仙台の中間にあり、これも每時四十キロ乃至五十キロの速さで北西に進んでゐる、なほ磐城沿岸は風波が高いから各漁船は何れも注意が肝心である

小名港慘害

岸壁百廿五米崩壞

大敷網打上る

昨夜の時化で憂慮されてゐた小名濱港は今朝一時頃から三時ごろまで最も激しく海上は近來にない大荒れでこのため魚市場前岸壁約百二十五米崩壞しまた平製氷第二工場、生鮮魚介丸和共販所倉庫は何れも激浪のため半潰、一方港灣に繫留されてあつた同町大平義近氏所有ハモ漁船外三隻(何れも六トン級)が沈沒した外太田勝安氏所有の起重機船が沈沒しまた同町小名濱大敷網は今朝の激浪で流失今朝江名町大字永崎海に打上げられた。

小名濱町ではこのため今二十三日午後一時から同町役場に急施町會を開き魚市場前約百二十五米崩壞したため應急對策費として一萬五千圓を計上、これを決議した

防波堤決潰

四倉の脫衣場七軒壞滅

四倉警察署管內は比較的被害尠ない模樣であるが、激浪に洗はれ海水浴場前の防波堤約五十間決潰し、これが爲海水浴場の脫衣場バラツク七軒は目茶苦茶に破壞された

浸水家屋は床下のみに止り、大野村方面は交通杜絕したが久の濱、大浦方面國道は交通障害無かつた

海岸の網倉庫一棟半潰したがこれも損害輕微で四倉町民はホツトしてゐる

小玉川橋

流失

家屋三戸流さる

赤井村の小玉川橋流失の外役場より下小川へ通ずる橋梁も流失し、流失家屋三戸あつた爲報告あつたが尙被害ある模樣

大風一過

今度こそ盛夏來る

猪狩所長談

猪狩小名濱測候所長は颱風も通過し今度こそ〃夏〃が來ます…と大体次の如く語つた

颱風も二つに分れ日本海並に太平洋方面へ去りました、大部水が氾濫した樣ですが降雨量は坪當り二石四斗位で先にもこの位の降雨がありましたが大した增水もなかつたのですが今度のは連日の雨で各河川とも水量が豐富だつたのに加へ豪雨が降り續いたため、大增水になつたものと思はれます、先づ颱風一過の處氣壓配置は現在の處太平洋上南鳥島附近に七百五十八ミリの高氣壓がありこれが次第に勢力を擴大して來るものと思はれますから今度こそ〃夏空〃が來ます、だがこゝ一二日はやはり晴れたり曇つたりの天候が續くでせう、この外低氣壓は遠くフイリツピンにありますがこれも大したことがなくオホーツク海方面に七百六十ミリ程度の高氣壓があります風もけさ六時頃迄は風速十米位でしたが颱風が遠ざかるに隨つて風雨共にをさまりました

迷ふな流言

漏すな機密

防諜標語

山崩れで

神谷村で半潰

神谷村向鎌田猪狩金治方が山崩れの爲家屋半潰した

平商孤立

床上浸水に惱む

新川の氾濫から同川南方の交通は杜絕し、商業學校は孤立した形となり、同校も遂に床上浸水を見たが救援にも行けぬ仕末で宿直員と小使さんは轉手古舞ひをして書類など整理に當つた

駐在所危し

愛谷江筋も增水

市內五丁目愛谷江筋の上に建てられた駐在所は同河川の增水で一時危險となつた爲書類其の他持ち出すなど大騷ぎを演じたが難を免れた

水源地障碍で

用水節約方督勵

平市水道は昨夜からの增水で取入口の好間村大字上好間字內の草地內が約五十間決潰したので水道課では今二十五日朝一部斷水すると共に市內湯屋營業者に對し休業をさせ極力水の節約に努めてゐるが同個所の復舊には約五日間を要する見込みである、なほ市では市內に次の樣な貼出しをした

△飲料水以外の使用を御遠慮願ひます△洗濯物は御遠慮願ひます△湯屋營業も休業を願ひます

体力檢查

水害で變更

平市の体力檢查は今二十三日執行の豫定であつたが水害のため次の如く變更した

△体力檢查、十八才のもの廿四日午後一時、十九才のもの廿六日午後一時△ツベルクリン注射、十九才のもの廿四日午後一時

御親閱參列

中堅青年鍊成

縣では來月四日から七日まで四日間平市湯殿山に縣下の御親閱に參加した青年學校生徒を集め中堅青年鍊成講習會を開催することになつた

遊戲講習

來月第二で開く

平女教員會主催唱歌遊戲講習會は來月一日から三日まで午前九時より平第二國民學校に開く

圖画講習

第三校で

平敎育部會、圖研平支部共同主催圖畫工作講習會は平第三國民學校に來月一、二の兩日午前九時から開催する

夜の科學

第一校夏休計畫

夏の夜の科學……平市內國民學校では夏休み期間中の行事をそれ／＼計畫中であるが平第一國民學校では十日間の豫定でよき天候の日を選び夜間兒童の登校を求め〃夜空の科學〃星座その他の天文觀測を行ふことになつたが平第三國民學校でも計畫中である

なほ第四國民學校では同期間中の行事として竹材具の敎授をする

古レコード

各校で回收する

平市內四國民學校協議會は昨二十二日午前七時から第四國民學校に開催したが日本物資厚生協會提唱の廢品厚生奉公運動に協力、各家庭にある古レコードを兒童の手を通じて蒐集することになり早速今月末迄に各家庭へ呼掛けることに決定した

地下足袋　平市では今月末ごろ軍手百八十地下足袋三百四十八足を配給する

家屋稅調查　小名濱町家屋稅調查委員選擧は九月五日執行する事に決定したが委員はちん貸價格を査定し公平を期す機關たるものである

古老も驚く

五十年來の水害

今回の水害は明治廿九年來約五十年間に見ぬ大慘害で古老も驚いて語る

大正九年十月一日にも相當酷い水害はあつた、部分的には浸水の深かつた處もあつたが仲間町方面があんなにひどくなかつた、當時に比較すると夏井川の改修も完成してゐるし、小規模ながら新川も出來てゐるのだから今回の慘害の甚しかつたことが想像出來る

急施市參事會

罹災者救助案決る

平市では今廿三日午後三時から急施市參事會を招集し、水害の罹災民救助に關する案を決定した

四倉築港

浚渫船沈沒

四倉築港事務所の浚渫船は第一築港內繫留中激浪のため沈沒したこれが爲第二築港工事は又しても相當遲れるものと心配されてゐる

市常會

無期延期

今二十三日公會堂日本間に開催の豫定であつた市常會は出水のため無期延期と決定した

衛生

市當局注意喚起

減水後

平市衛生課では出水後の衛生について次の如く語つた

床上浸水家屋は勿論便所も台所も一諸になつて仕舞つたのですから手の付けやうがありません、先づ自發的に徹底的な清潔法を實施して貰ふことです、市でも目下淸潔法實施についての日取り等を考慮中ですが颱風一過で今度こそヂリ／＼照りつけるでせうから殊に傳染病には充分注意して下さい

農作物被害

減水を見て對處

平市產業課では市內の農作物の被害について調査中であつたが何にしろ水田、畑地の別なく冠水した爲め現在の處殆んど手のつけやうがなく水のひけるを待つ形にあり胡瓜、なす馬鈴薯など大打擊を被つたものと見られ水田の流失も憂慮されてゐるがこれも水のひけるまでは全然不明である

天氣豫報

今晚　西の風晴れ小雨模樣

明日　北東の風晴れたり曇つたり

高級食堂

女給仕さん至急求む

年齡……十七才ヨリ三十才位迄

給料……三十圓、外にも收入あり

被服……不用、上着貸します

希望者は至急本社へ御照會下さい
未經驗者も可
【電話六一二番にてもよろしい】

姓名在社

別莊向宅地讓渡

場所…植田町岩間海岸
面積…五百坪
建屋…茅葺平屋(五十坪)
庭園…古木、庭石含む

川が大平洋に注ぐ處、筋向に鴨の湯鑛泉あり、空氣清淨、風光明眉にして避暑避寒に適した絕好の別莊向き住宅地

格安にて讓渡す

姓名在社

女事務員兼雜務係

一名募集(二十才前後)

食事付三十圓給與

希望者ハ電話デ問合セラレ度シ

森合齒科醫院
植田町　電(植田)七一

度量計

モノサシ・マス・ハカリ

計量器

體溫計・寒暖計

販賣所　資生堂
小名濱町　電一四九番

公債・債券
質物一般

三井質店
平市四丁目裏通り
電六〇六番

太陽生命
豐國火災
平代理店

平　往復券2割引40錢　四倉

▽新舞子　約二丁
▽仁井田浦　約二丁
▽四倉海岸　約一丁
▽波立藥師　約八丁
▽鰐ヶ淵　約八丁

團体は特に御相談に應じます

合名會社
平・四倉乘合自動車
電話三七〇